

資料紹介 広報課写真資料

市史資料室には、文書資料の他に写真類等の画像資料も所蔵している。これらの多くは、『横浜市史Ⅱ』の編集過程で通史や資料編の挿入写真用として収集したもので、従来、特に高度成長期以降の写真の収集量は少量であった。高度成長期を扱った『横浜市史Ⅱ』第三巻上下では、当時の市民局広報課（教育文化センター地下一階）が撮影・所蔵している写真を多く使用している。

二〇〇七年度末、広報課が教育文化センターから撤収することになり、その際に所蔵していた行政刊行物などと共に、膨大な写真類が市史資料室に移



移管前の写真類の一部 2008年3月

管されることとなった。〇八（平成二〇）年三月に段ボール箱一〇〇箱以上のネガフィルム・スライド・プリント・ベタ焼きフィルム等を資料室に運び込み、現在、整理中である。これらの写真は、広報センターと分類されたものを中心に、一部、広報課と分類された写真、勤労市民室由来のものが含まれている。現在までにネガフィルム約八、〇〇〇本等が確認されているが、

個々の写真を確認するまでには相当の時間がかかると思われる。しかし、過去に広報課において写真をスキャン（電子化）しており、約一一、〇〇〇枚余の画像データの移管も合わせて受けている。このデータは、行事等は九〇年代半ばまで、それ以後は航空写真のみである。現在、これらは外部への提供も行っている（後述を参照）。

ところで、市史資料室では、開港百五十周年の今年に、資料室が所蔵している、あるいは複写で収集した写真をもとに、昭和期の横浜を中心とした写真集の刊行を計画している。この中で、高度成長期以降の写真の大部分は「広報課写真資料」で占められる予定である。しかし、それでも二八〇枚程度であり、データ化されている枚数から見ても数%に過ぎず、一〇万〜二〇万コマと推定される全体からすれば微々たるものである。もともと、同一場面を撮影した写真が複数あるのが普通なので、枚数差ほどに差がある訳ではないが、それでも掲載を見送った

写真が大量にある。今後何らかの形で紹介していくが、ここでもごく僅かではあるが、一端を紹介しよう。

資料の概要

まだ、整理途中であるが、簡単に資料の概要を紹介しておく。

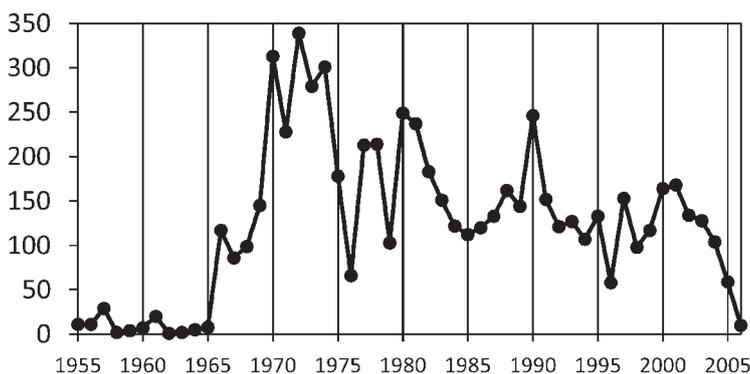
広報課は、一九四九（昭和二四）年一月総務局に設置され、以後、総務局が市民局に属し、現在は市民活力推進局広報相談サービス部広報課として、『広報よこはま』をはじめとする広報紙誌、放送等の広報活動を所管している。広報センターは七四（昭和四九）年七月教育文化センター内に設置され、市政資料の展示やミニコミコーナーなどを運営した。

移管前の広報課における写真の整理の基本は、①ネガフィルムとこれのインデックスとなる②ベタ焼きアルバムである。ネガフィルムは、大多数が三五ミリであり、大部分が三六コマのフィルムを入れるネガカバーに入れられ、一部、ネガシートをファイルしているものもある。カラーは、DPE店の袋に入ったものが多い。ネガカバー等には、六六（昭和四一）より年代ごとに番号が付してあり、被写体に関する簡単なメモが書いてある場合が多い（但し、フィルムの抜き差しも行われているので、合わない場合もある）。「広報センター」・「広報課」は番号の色分けで区別され、「広報課」は七二年からで数量も「広報センター」に比べて

少ない。ベタ焼きのアルバムは、以前はテーマ別となっていたが、移管前年代順に再構成された。カラーでは、次第にプリントアルバムがベタ焼きに変わっていくが、プリントしていない写真も多くインデックスにはないといえる。

年代別に、約六、五〇〇本と数量の多い「広報センター」について見てみると、番号が付せられるようになる六六年より多くなり、七〇年代前半がピークとなる。それ以後、少ない年もあるが、概ね一〇〇本を超える。直近では二〇〇一年をピークとして急激に

年別「広報センター」のネガフィルム数(フィルムカバー数)



少なくなり、撮影テーマも限定されてくる。また、これらとは別に、テーマ別になっているフィルム・ベタ焼きアルバムもある。なお、フィルムとベタ焼きは、すべてが対応する訳ではない。

③ スライドフィルム（ポジ）類。ネガと同じように行事や市内を撮影したもので、主にテーマ別にボックスに収めてある（前ページの写真参照）。

④ プリント類。アルバムに貼ってあるものとバラのまま袋に入っているものがある。行事などをまとめたものもあるが、多くは種々雑多である。

⑤ 航空写真。一九五〇年代から二〇〇七年までであるが、全市を網羅しているのではなく、中区、西区や埋立地などが多い。九〇年代ぐらいからカラーとなる。

⑥ その他。

以上、未整理の部分が多いので不確定であるが、現状ではこのように把握できている。

写真の紹介

データ化されている写真から、何枚かを紹介する。写真は、今後刊行予定の写真集に掲載しない行事、テーマから選択している。写真に付してあるNo.は広報課がデータ化したときの目録番号で、市史資料室でも同No.を使用している。

（百瀬敏夫）



横浜市民健脚大会 1960年1月31日 (No.3133)
写真集掲載予定のアジア卓球選手権大会以外にも、様々なスポーツイベントの写真がある。



ごみ処分場 1958年 (No.1100)
市政の大きな問題であるゴミ処理関係の写真は多い。昭和30年代のカラーポジだが、褪色が著しい。



横浜市新生活運動推進大会(部分) 1960年11月12日 (No.3134)
「町をきれいにしよう」などと共に、「お尻をきれいに洗ってから入浴しよう」のスローガンが、内風呂が余り普及していない時代を反映している。



豪雨による関内駅前の水害 1970年7月1日 (No.1752)
自然災害や事故の写真は非常に少ない。



中央卸売市場 1960年6月11日 (No.3762)
中央卸売市場は、定期的に撮影されている。



保土ヶ谷区制50周年記念行事 1977年9月 (No.6955)



瀬谷区開設記念式典 1969年10月1日 (No.1627)
各区の行事の写真は少ない。



大震災避難訓練 1972年6月30日 (No.5328)
防災訓練、消防出初め式などは頻繁に撮影されている。



大通り公園建設用地 1973年7月 (No.5528)

※市史資料室所蔵写真の利用について
広報課写真資料などの写真資料については、現在、閲覧には供していません。『横浜市史Ⅱ』、『写真でみる横浜大空襲』（横浜市総務局、一九九五年）、今後予定されている写真集をご覧下さい。
出版物への掲載、テレビ番組などの映像への使用などには対応しておりません。その際には、「何年頃のどのような写真」ということを予め指定していただき、候補数枚をお見せして使用する写真を決めていただく事となっています。
使用写真が決まったら、利用申請を御提出いただきます。
また、従来、市の刊行物に使用されている写真であっても、著作権、所蔵者・提供者との関係で提供できないものもあります



広報センターのミニコミコーナー 1979年12月 (No.7901)